

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 29 年 5 月 18 日 (2017.5.18)

【公開番号】特開 2015-196371 (P2015-196371A)  
 【公開日】平成 27 年 11 月 9 日 (2015.11.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-069  
 【出願番号】特願 2014-77254 (P2014-77254)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/47 (2006.01)**

**G 0 2 B 26/10 (2006.01)**

**H 0 4 N 1/113 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 2/47 1 0 1 M

G 0 2 B 26/10 B

G 0 2 B 26/10 A

H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 29 年 3 月 24 日 (2017.3.24)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

前記制御手段は、前記光学センサから出力される1つの検出信号に対する、前記複数の発光素子のそれぞれの、画像データに基づく光ビームの出射タイミングの相対遅延時間を、前記平均値に応じて制御することを特徴とする請求項 1 1 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 0】

その後、S 1 1 6 で、C P U 4 0 1 は、発光素子 1 及び 3 2が出射するレーザ光の光量を、次の記録紙への画像形成に備えて、画像形成用の予め定められた光量に設定し、処理を S 1 1 7 に進める。S 1 1 7 で、C P U 4 0 1 は、S 1 0 3 と同様、C P U 4 0 1 は、B D 間隔測定の実行結果（平均値）に基づいて、レーザ出射タイミング制御を実行し、処理を S 1 1 8 に進める。S 1 1 8 で、C P U 4 0 1 は、画像形成ジョブの実行を終了するか否かを判定する。C P U 4 0 1 は、画像形成ジョブに設定された枚数の記録紙への画像形成が終了した場合、画像形成ジョブの実行を終了すると判定し、S 1 1 9 で、ポリゴンミラーの回転を停止して、処理を終了する。一方、C P U 4 0 1 は、画像形成ジョブに設定された枚数の記録紙への画像形成が終了していない場合、画像形成ジョブの実行を終了しないと判定し、処理を S 1 0 0 4 に戻し、次の記録紙への画像形成処理を実行する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面  
 【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

